

報道関係者各位
プレスリリース

平成28年5月13日



まくら株式会社

千葉県柏市柏4-8-14 柏染谷ビル4F
TEL: 04-7167-3007
FAX: 04-7167-3017
E-mail: info@pillow.co.jp
URL: <http://www.pillow.co.jp/>

江戸商人が憧れ夢見た理想的な「そばがら枕」が時空を越えて21世紀にやってきた！
現代の最新技術と伝統を引き継いだ天然素材系枕「そば夢物語」、5月13日発売。

枕をはじめとする寝具・睡眠グッズの企画開発、及びインターネット販売を行っている、まくら株式会社（千葉県柏市、代表：河元智行）は、江戸時代から存在する「そばがら枕」を、現代の最新技術を駆使し理想的な「そばがら枕」に仕上げた天然素材系枕「そば夢物語」を、2016年5月13日に発売します。

時は江戸時代。この時代にも「そばがら枕」は存在していました。

江戸の町では、この「そばがら枕」を売り歩く、「枕売り」の姿もありました。日本の独特な高温多湿の環境では、そばがら素材のような清涼感があり、そして通気性のある素材が重宝されていたのです。

しかしながら、当時、加工方法や洗浄技術が未発達だったため、そばがら素材の汚れがひどく、また虫が発生してしまうという問題を抱えていたことから、庶民の間で末永く使える枕として普及することはありませんでした。

そこで、これらの江戸時代の技術では解決できなかった問題を現代21世紀の最新技術で解決したのが、この「そば夢物語」です。

まずは、中素材で使われているそばがら素材。この「そば夢物語」で使われているそばがら素材は、燻製や毒性の高い消毒を行わず、水での洗浄を3回繰り返して行うことにより、汚れや不純物を取り除いています。また、虫の発生を抑制するため、防虫効果があると言われている天然のひのきチップを配合。天然の力で虫の発生を抑制します。

枕の形状は、現代人の体型や生活習慣、そして人間工学に合わせて設計。そばがら枕独特のしっかりとした硬さをそのままに体感できるよう4段に区切られた構造になっています。また、枕の中素材を出し入れすることにより、枕の高さを自由に換えられるよう、そばがら素材の取り出し口を設置。いつでも自分好みの寝心地に調節することができます。

枕カバーには、三河木綿の糸を使用した和晒し6重織りガーゼを採用。思わず頬ずりしたくなる、ふっくらとした優しい肌触りを実現しました。

価格は、5,980円（税込）、

サイズは、約43×63cm、中素材は、洗えるそばがら100%（ヒノキチップ配合）、

販売は、枕と眠りのおやすみショップ！（<http://item.rakuten.co.jp/oyasumi/999-000320-20/>）等の直営オンラインショップにて、5月13日より行います。

江戸時代に実現することができなかった枕。そして江戸商人が憧れ夢見た枕「そば夢物語」を、ぜひ体感してみてください。そばがら枕ファンだけでなく、硬めの枕がお好みの方や清涼感をお求めになられ方にもるにもご納得いただけることと思います。

【企画・商品概要】

- 商品名 そば夢物語（水洗いができるヒノキチップ配合そばがら枕）
- 販売価格 5,980円（税込）
- 中素材 洗えるそばがら100%（ごく少量ひのきチップ配合）
- 枕カバー 綿100%（片面：三河木綿和晒6重織りガーゼ、片面：2重ガーゼ）
- サイズ 43×63cm
- 製造国 日本製
- WEBページ <http://item.rakuten.co.jp/oyasumi/999-000320-20/>

【会社概要】

- 会社名 まくら株式会社
- 代表者 河元 智行
- 資本金 1,000万円
- 設立 2004年4月12日
- 所在地 〒277-0005 千葉県柏市柏4-8-14 柏染谷ビル4F
- TEL 04-7167-3007（代表）
- FAX 04-7167-3017
- URL <http://www.pillow.co.jp/>
- Email info@pillow.co.jp
- 事業内容
 1. 直営のオンラインショップ18店舗を通じた一般小売り販売
 2. 枕や抱き枕、寝具類の卸売り販売
 3. オリジナル商品の企画・製造
 4. 枕や抱き枕などのOEM製造、製造受託
 5. オンラインショップ運営に伴うシステム開発、販売促進業務等

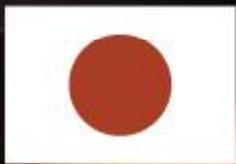
【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：まくら株式会社
担当者名：小松明代、石渡三恵子
TEL：04-7167-3033（直通）
Email：komatsu@pillow.co.jp



SOBA YUME MONOGATARI

そば夢物語[®]



Japan Quality





そば夢物語 全文

江戸商品が夢見た理想的な「そばがら枕」。
その枕が時空を超えて、この21世紀にやってきた。

時は江戸時代。

この時代、街では商いが盛んに行われていた。

そんな江戸時代には、枕を担いで売り歩く「枕売り」の姿もあった。

枕は、人間が直立歩行をするようになった頃から存在し、もちろん江戸の時代でも生活の必需品であった。

その頃の枕売りは、主に着物屋の延長でもあったが、個性溢れる枕も存在していた。

中国から伝わった箱枕に、ちょんまげのまま眠ることができる坊主枕などなど。

そして、この時代から愛されていたのが、「そばがら」を使用した枕だった。

そばがら枕は、日本の夏、独特な高温多湿な環境でも清涼感があり、ムレづらい。

その上、日本各地で育つ蕎麦の実から産出されるため、手軽に入手できる素材でもあった。

しかし、問題点があった。

そばがらの汚れがひどく、また虫も発生しやすい。

不衛生なものも多く、そばがらから粉やカスが多く出てしまう。さらには、チャタテ虫という害虫も発生しやすい。

「もっと衛生的で、安心して使える枕を作ることはできないだろうか？」

「そして江戸の街の人々にもっと快適な眠りを届けることはできないだろうか？」

江戸の枕売り商人は、夜な夜な考える日々が続いた。

しかし、その夢は、この時代に叶うことはなかった。

そして時は過ぎ、21世紀の東京。

この時代でも、そばがら枕は存在し続けていた。

藁やパンヤ素材はなくなり、この時代に天然素材の中で継続して残り続けたのは、そばがら素材のみだった。

残り続けたのには、確かな理由があったからに他ならない。

それは、日本の風土にあった枕の素材で、夏場の清涼感やしっかりとした寝心地が長く愛されてきたから。

そして21世紀、

最新の技術と手法を使い、江戸商人が夢見た、そばがら枕を作り上げた。

それが、そば夢物語である。

現代の人間工学と体型、生活習慣に合わせて設計された、そば夢物語は、眠りやすさとしっかりとした寝心地を実現した形状、枕の高さを自由自在に調整ができる高さ調整口付の構造、そして、衛生面を考慮し何度も洗浄を繰り返した清潔そばがら素材を使用、さらには、そばがら素材自体の水洗いも可能となる加工を施した。

そして枕カバーには、三河木綿の糸を使用した「和晒6重織りガーゼケット」素材を使用。

三河国で伝統的な晒加工を施し、ふっくら柔らかな感触と優しい触り心地を実現することができた。

すべてに最高品質を求め、完璧なそばがら枕を作り上げることができた。

そう、その昔、

江戸商人が憧れた、

江戸商人が羨む、

そして江戸商人が夢見た、そばがら枕が21世紀の叡智を結集し、時空を超えてここに実現した。

そば夢物語、ぜひご堪能ください。

江戸時代を実現することができなかった枕。

そして江戸商人が憧れ夢見た枕「そば夢物語」を、ぜひ体感してみてください。そばがら枕ファンだけでなく、硬めの枕がお好みの方や清涼感をお求めになられ方にもるにもご納得いただけることと思います。